

庄内柿が降霜被害 長沼地区でほぼ壊滅状態

4月10日から11日に
かけて、県内の果樹へ
の降霜被害が発生しま
した。
特に長沼地区の庄内
柿に甚大な被害が広が
っています。



庄内柿の花芽が枯死し、発芽しない(長沼宮東4/27)

調査地区	面積 (ha)	被害状況		栽培面積 (ha)	備考
		被害率 (花芽の枯死亡率)	影響		
鶴岡	黄金	0.87	50%~80%	24.3	県普及課、JA鶴岡による抽出調査
	大泉	0.60	10%以下		
	田川	-	なし		
	その他	-	なし		
藤島	長沼	5.00	90%以上	67.3	
	渡前、鷺畑、東堀越	-	10%~20%		
羽黒	後田山	20.0	10%~20%	183.7	県普及課、JA庄内たがわによる抽出調査
	手向	-	10%~20%		
	仙道	-	5%~10%		
	十五団地	-	5%		
	松ヶ岡	-	0%~5%		
	高寺、後田	-	なし		
櫛引	西荒屋、西片屋、黒川、漆山、大杉川原、馬渡山、山添	-	なし	110.2	
朝日	越中山	-	10%~20%	29.7	
	熊出、栗山	-	なし		

4/20鶴岡市農林水産部報告から

今後の対応は、被害が甚大な園地は来年に向けた樹体管理、比較的被害が軽微な園地は、結実の確保と高品質生産に努めるということです。

果樹共済の対応や、市の支援が必要になってきます。



民報HP

月山とわたし 3

加藤貞雄(山王町)

数年後の秋、ある絵画展に出品するために一枚の絵に取り組んだ。長い間胸の中に温めてきた一稲の杭掛けと月山一の風景である。

稲杭を探し回ったが、今はコンバインで処理され、平地ではついぞ見かけなかった。山間地でわずかに目にしたが、肝心の月山が樹林に隠れてしまっ

やつと田代(櫛引)から上野新田(羽黒)に向かう途中の田んぼに10本ほど立ち並ぶ稲の杭掛けを見つけた。しかもその背景には月山が座っていた。刈り取られてから日が浅いせいかわりに青臭い匂いが漂っていた。

月山が稲杭の間に位置するようにイーゼルを据えて、稲杭を画面いっぱい構図した。地面に散らばっている藁くずが懐かしかった。

「たは、休みだぞー」の声で、畦畔に腰をおろして、サツマイモを頬張りながら月山を眺めた少年のころを思い出した。

月山はもっと大きいのではないかとも思った。そのとおりで、赤川の土手の上から望む月山は実に大きく、高く、堂々としている。広い風景全体の中での月山の存在感が、見る人に、ある感動を伴って大きく迫って見えてくるのだろう。



私にとって稲は月山と分かち難いものとしてイメージされる。それは私の心の原風景といってもいいだろう。

(つづく)

山形が育む米の可能性が広がる 藤島農産物元気食楽部が3年目の総会・研修会

設立3年目を迎えた藤島元気食楽部（太田三千夫会長・会員81人の令和3年度総会と研修会が23日、藤島庁舎で開かれました。

研修会は山形県6次産業化プランナーの玉谷貴子さんが「米の可能性と6次産業化」と題し講演しました（写真・藤島庁舎提供）。

玉谷貴子さんは新潟県長岡市出身で、食品会社の父の一言「農がこれからの日本を救う」をきっかけに、岩手大学農学部に入学。

卒業後は新潟県の菓子メーカー（株）大阪屋研究室細菌検査部門に入社したものの、翌年に山形県西川町に嫁ぎ、現在は「玉谷製麺所」の専務取締役です。

講演ではお米の食べ方の歴史をたどり、神事や仏事で、米を粉にしだんごを作って供えていたなど、米の加工が生まれた理由を探り、



新時代の米の商品開発の事例を数多く紹介しました。

月山黒米うどんや、つや姫を使った雪結晶 Pasta、雪若丸を使ったクラゲ夢Pasta、昆虫食としての健康とト

レンドに注目を集めるコオロギスナックなど多彩です。

「農業×加工×観光で、山形が育む米の可能性が広がる」と、エネルギーギッシュに語りました。

令和3年度 藤島農産物元気食楽部 役員名簿

No.	役職名	氏名	備考
1	会長	太田 三千夫	
2	副会長	成澤 勝	JA庄内たがわ藤島支所長 新
3	副会長	成田 譲	鶴岡市藤島庁舎支所長 新
4	監事	齋藤 泰宏	
5	監事	佐久間 憲生	
6	未来へのアグリ部会	井上 貴利	
7	米部会 部会長	矢口 悟	
8	園芸部会 部会長	去渡 勝宏	新
9	地域農産物加工部会	押井 秀勝	
10	地域農産物加工部会	富樫 菊子	
11	相談役	齋藤 泰宏	兼務
12	相談役	相馬 一廣	
13	アドバイザー	太田 三千夫	兼務
14	アドバイザー	佐久間 憲生	兼務
15	アドバイザー	田澤 繁	
16	アドバイザー	武田 壮一	新

世界の国々 アメリカ ④ アマゾン労働者のたたかい、全米 に関心広がる 青山 崇

アマゾンの労組結成は、先号に書いたように残念ながら敗北した。しかし今月4日、同じ巨大IT企業で1月に320人の労組が結成されていたことが明らかになった（写真）。

このような状況下で、労働条件と労組結成に関心が広がっている。大手メディアも次々に報道し、新しい様相を示している。



ワシントン・ポストは、労組結成に至らなかったものの「労働条件に対する政治的な監視は今後も弱まらないだろう」と指摘し、米労働総同盟産別会議のトラム力議長は「今回の運動はますます多くの労働者の集団的行動へ水門を開いた」と述べている。

全米運輸労組は、中部アイオワ州のアマゾン倉庫（写真）での労組結成に向け活動していることを明らかにした。また米議会内でも支援が広がっている。民主党のサンダース上院議員らの進歩派議員だけでなく、支援を



（米国内のアマゾン物流施設）



同盟の強化とは

仲良くなる事を否定はしませんし、トップ同士が当面の課題について話し合う事に問題はないんだが、誰と誰が会ってもこの2国間「同盟の強化」を言うから俺はイヤなんだ。

▲同盟の強化とは安保を強める事。つまりは会う度に同盟の強化と称して軍備の増強を求められるんだ。トランプにゴルフで釣られたアベは、爆撃機の爆買いをしたんだ。

▲これらの後年度負担という借金はナンボあるのかも問題だが、防衛費はここ数年5億円を超えているんだ。護衛する艦が無いのに護衛艦を持つている。何とかという軍艦を戦艦に改造も進めている。潜水艦は44隻もあるんだ。一時・専守防衛とは反対のクラスター爆弾も持っていたんだ

表明したバイデン大統領から共和党のルビオ上院議員にまで、幅広く支援の輪が広がっている。

ツケ。何を持っていか国民には不明だが。▲わが国の上空を飛んでいくミサイルを打ち落とす物も持っているが、ミサイルの発射場所を先制攻撃すると言いつつ始めている。そんな事は憲法違反なんだが、それを承知の上でそう言うんだぜ。これは、国民の耳を馴れらせる為じゃないですか。▲ああだ・こうだと時間をかけ、防衛力と称して備えてきた物は、明らかに憲法が禁じている軍備でしょう。PKO特措法とかで外国に行っているのは、兵隊でシヨ。国民が反対しても決まるのは、そういう人を選ぶからだ。▲首相がアッチに言えないのが、沖縄県民の声。地位協定の見直しも。夜ゆつくり寝たいから、夜中の訓練を辞めて寝られるようにしてくれ。これすら言えないんだぜ。これで日本の代表か。（石川）